

東北大学精神医学教室による活動：To GEMS プロジェクト

東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座
准教授 松本 和紀

東北大学では、平成 23 年 10 月に宮城県の寄附によって設立された東北大学大学院医学系研究科予防精神医学寄附講座（以下、『予防講座』という。）が中心となり、東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、東北大学病院を含む東北大学精神医学教室が一体となって、東日本大震災後の精神医療・保健領域にかかわる支援や研究を行っている。平成 25 年度に活動した主なメンバーは、予防講座の松本、高橋、内田、越道、見立、齋藤、精神神経学分野大学院の上田、桂、佐久間、佐藤であった。この東北大学精神医学教室による活動は、To GEMS（東北大学精神医学教室・東日本大震災・心のケア・支援研究：Tohoku University, Department of Psychiatry, Great East Japan Earthquake Mental Health Support and Research）プロジェクトと称している。

我々の活動の多くは、みやぎ心のケアセンターとの連携・協力の下に行われており、スタッフはみやぎ心のケアセンターの非常勤職員としても活動している。石巻地区においては、佐藤と上田がみやぎ心のケアセンター石巻地域センターと連携し、精神疾患をもつ、あるいはその疑いのある被災者へのアウトリーチを定期的に行い、支援者や被災者向けの講演、専門家への技術支援などの活動を行った。岩沼市では桂が、市保健師やプレハブ仮設住宅・民間賃貸借上住宅入居者の支援者等を主な対象に毎月定期的に研修や事例検討などの支援を続けている。佐久間、高橋は自治体等の職員支援を行い、松本、上田は支援者や一般市民向けの普及啓発のための講演などに従事した。

研究調査活動については、別項にあるとおり大きく、①被災地の公的職務に就く職員の健康調査、②応急期・急性期の精神科医療についての病院調査、③災害後の被災地での心理的支援方法の開発と普及についての研究がある。①の研究は、職員への支援活動も兼ねており、調査を行った後に職場での健康相談をみやぎ心のケアセンターと共同で実施したり、人事担当者へのアドバイス、職員向けの研修などを行ったりしている。このうち佐久間、内田、高橋、越道が気仙沼市や南三陸町を担当し、高橋が被災地域の看護職を、上田が社会福祉協議会職員を主に担当した。②の研究は、兵庫県こころのケアセンターの協力を得て、高橋が中心となり災害の復興回復期に特化した支援プログラムであるサイコロジカル・リカバリー・スキル（Skills for Psychological Recovery: SPR）の被災地における実施可能性を検証するために実際の介入を気仙沼市本吉地区の協力の下で実施しており、さらに、保健師や心理士などの専門職への研修を実施した。また、認知行動療法センターの協力を得て、上田が中心となり健康増進や予防的観点から一般市民や支援者を対象に、認知行動療法の基本的な考え方やスキルを伝え、日常生活の中でのストレスケアについて

学んでもらうための『こころのエクササイズ研修会』を実施した。こうした研究は、厚生労働省、文部科学省の科学研究費、先進医薬研究振興財団などによる研究事業としても行われた。特に、平成 25 年 7 月には、厚生労働省科学研究費「東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究」（研究代表者：松岡洋夫）の事業の一環として、「東日本大震災の精神医療における被災とその対応—宮城県の直後期から急性期を振り返る—」と題したシンポジウムを開催し、また、このシンポジウムに基づいた記録集を発刊した。

その他、我々は、みやぎ心のケアセンターと共同で、東日本大震災後の宮城県内の精神保健医療における人材育成の一環として、心理支援スキルアップ講座を開催しており、この講座では認知行動療法センターの大野裕先生の協力を得て、認知行動療法を実践する専門職の育成を図り、中長期的に被災地の支援に役立てる計画である。また、海外の支援団体である Give2Asia による、みやぎ心のケアセンターへの支援事業への協力を行った。

今後も、東北大学精神医学教室では、みやぎ心のケアセンターと連携・協力しながら、長期的な視点から宮城県の精神保健領域での復興に貢献していきたい。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1) 教 授 | 松岡 洋夫 | (精神科医師) |
| 准教授 | 松本 和紀 | (精神科医師) |
| 助 手 | 高橋 葉子 | (看護師) |
| 助 手 | 内田 知宏 | (臨床心理士) |
| 技術補佐員 | 越道 理恵 | (臨床心理士) |
| 事務補佐員 | 見立 京子 | |
| 事務補佐員 | 齋藤 真由美 | |

平成 26 年 3 月末日現在